



**KAYAKU spirit を実現するための企業活動がCSR経営の実践につながるという意識をグループ全体で共有し、
役員・従業員一体となって事業に取り組みます。**

本年6月25日付で代表取締役社長に就任いたしました鈴木政信です。CSRレポート2015の発行にあたりご挨拶申し上げます。

日本化薬グループでは、KAYAKU spirit 「最良の製品を不断の進歩と良心の結合により社会に提供し続けること」を、わたしたち一人一人のあるべき姿、企業ビジョンと位置づけております。このKAYAKU spiritは半世紀以上に制定された社是を元にしており、わたしたちの諸先輩から受け継がれ、時間をかけて組織内に定着してきた考え方であり、当社グループのCSR経営の基盤となっております。わたしたちは、KAYAKU spiritを実現するための企業活動がCSR経営の実践につながるという意識をグループ全体で共有し、役員・従業員一体となって事業に取り組んでおります。

安全操業・コンプライアンス・環境への配慮を最優先事項として徹底し、高い倫理観をもって企業活動を行うことによって、すべてのステークホルダーの信頼に応え、社会から必要とされる存在であるよう努めてまいります。当社グループは2016年に創立100周年を迎えます。現在、この100周年を目指した3カ年中期事業計画「**Challenge 100A!**」(2013年度～2015年度)が進行しておりますが、CSR経営は当社のあらゆる事業の根幹に位置づけられるものと考えております。

あらゆる事業活動のボーダレス化が進み、国際的な競争が激化するなど、事業環境がますますグローバル化する中、当社グループの海外活動も拡大し、現在9カ国で機能化学品・自動車安全部品・医薬品・農薬など多様な事業を営んでおります。海外従業員比率も40%を超え、ビジネスにおける海外グループ会社の重要度もますます高まる中、わたしたちの社会的責任も世界的に大きく拡大していると認識しております。

本年のCSRレポートでは、製造業を営む当社グループにとって最も重要な「安心・安全」を実現するための取り組みを特集としてご紹介するとともに、「CSR調達」や「ダイバーシティ確保」の取り組みなどを掲載しております。また、海外グループ会社の記事を増やすとともに、昨年より開始した「日本化薬グループ会社のCSRコミットメント」については非連結子会社にまで拡大することで、グループ全体でCSR経営に取り組んでいることが伝わるようにいたしました。ダイジェスト版としての本レポートと詳細版として公開いたしますウェブサイトをあわせてご覧いただき、当社グループのCSR活動へのご理解をいただけますようお願いいたします。新しい体制のもとCSR経営の実現に向け精励いたしますので、ステークホルダーの皆様におかれましてはご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 鈴木政信